

<会員による自著紹介>

大学基礎講座 改増版 —充実した大学生活をおくるために—

藤田哲也（編著）

法政大学

北大路書房（2006年発行）
定価 1,995円（税込）



本書のタイトルにある「改増版」というのは「改訂+増補」を意味する造語である。2002年3月に最初のバージョンを刊行した際には、京都光華女子大学での、本書と同名の初年次教育科目で教科書として利用するという意図しかなかったのだが、ちょうど多くの大学が初年次教育を導入しようという時期と重なったこともあり、複数大学で教科書に採用していただく機会を得て、7刷まで至ったものである。その間、京都光華女子大学をはじめ、本書を使って授業を行っている多くの大学からの示唆を得て、それを反映させる形で改増を行った成果が、この改増版である。

今日では、初年次教育のための教科書を複数手に取ることができるが、初版から一貫している本書の特徴は、「教員が教えたことを記述する」のではなく、「学生が疑問や不安を感じる過程をくみ取って、学生の視点に沿って学びを支援する」という趣旨で記述がなされている点である。教科書として授業で解説することを想定して作成しているのだが、授業外での学習を促す意図もあり、基本的には学生自身が独力で読みこなすことが可能なように、表現はなるべく平易にし、語りかけ口調で、具体例も多く挙げて記述している。また、練習課題やコラム、イラストなども豊富に入れ、あまり堅苦しくならないように配慮している。

本書で取り上げている内容は、主に学習スキル（ノートの取り方、図書館の利用、レポートの書き方、ゼミ発表の仕方など）が中心だが、「大学で学ぶことの意味」「自主的・積極的に学ぶことの重要性」についても随所で触れ、望ましい大学生活を送れるよう、方向付けている。また、これらの学習スキルを習得することが、大学卒業後に社会に出たとき、こういった能力として意味を持つのかについても、随所で解説をしている。

本書を活用した初年次教育の実践例として、法政大学で「初年次教育モデル授業公開」を行っている。興味のある方は、本号の藤田論文を参照されたい。